

Impacting the World

西南学院大学

西南学院中学校・高等学校

西南学院小学校

舞鶴幼稚園

早緑子供の園

2012(平成24)年度
学校法人 西南学院
事業計画書

一粒の麦から、次の100年に向かって



 学校法人 西南学院

西南学院の使命

学校法人西南学院は、「キリストに忠実なれ」の建学の精神に基づいて真理の探求および優れた人格の形成に励み、地域社会および国際社会に奉仕する創造的な人材を育てることを使命とする。

Mission Statement of Seinan Gakuin Educational Foundation

Seinan Gakuin, an educational institution endeavoring to be true to Christ in the pursuit of truth in academic affairs and excellence in character development, strives to equip and nurture students to serve as creative and constructive leaders in local communities and in an expanding global society.

目 次

はじめに	1
I. 学校法人西南学院の事業計画	2
1. 教育理念と目標	
2. 「21世紀の西南学院」のテーマ “Impacting the World”	
3. 100周年及びその後を視野に入れた中長期計画	
4. 2012年度における主な事業計画	
II. 西南学院大学事業計画	5
1. 教育理念と目標	
2. 中長期計画	
第11次財政計画（2010～2013年度）	
大学キャンパスグランドデザイン	
3. 2012年度における主な事業計画	
III. 西南学院中学校・高等学校事業計画	10
1. 教育理念と目標	
2. 中長期計画	
3. 2012年度における主な事業計画	
IV. 西南学院小学校事業計画	13
1. 教育理念と目標	
2. 中長期計画	
3. 2012年度における主な事業計画	
V. 舞鶴幼稚園事業計画	15
1. 教育理念と目標	
2. 中長期計画	
3. 2012年度における主な事業計画	
VI. 早緑子供の園事業計画	17
1. 保育理念と目標	
2. 中長期計画	
3. 2012年度における主な事業計画	
VII. 資料	19
各学校事業及び行事予定	

はじめに

1916年、福岡市大名町にて教職員9人、生徒104人からスタートした「私立西南学院」が、現在の学校法人西南学院(以下、「学院」という。)の母体である。1921年には旧専門学校令による高等学部を開設し、1940年、西南保姆学院を開設。第二次世界大戦を経て1947年に中学校、1948年に高等学校を開設、1949年の大学設置へと繋がる。その後、1950年には早緑子供の園(保育所)と舞鶴幼稚園を学院内組織に組み入れたことによって、現在の学院の基盤ができあがった。

創業者 C.K. ドージャーの教育理念は「キリスト教に基づく人格教育」であり、その遺訓である“*Seinan, Be True To Christ* - 西南よ、キリストに忠実なれ-”は、学校法人西南学院の「建学の精神」として今に継承されている。

1999(平成11)年3月の理事会では、建学の精神を踏まえて、学院の使命を「学校法人西南学院は、『キリストに忠実なれ』の建学の精神に基づいて、真理の探求および優れた人格の形成に励み、地域社会および国際社会に奉仕する創造的な人材を育てることを使命とする」と定義した。学院の各学校・園では、建学の精神と使命を踏まえて、各々の教育理念を分かりやすく伝えることに力を入れており、本事業計画でも各学校・園の章の冒頭に「教育理念と目標」として掲載している。

学校法人西南学院の2012年度は、新理事長、新院長及び新事務局長での新体制によりスタートする。これは、2011年度末をもって理事長、院長、事務局長が任期満了を迎えたことに伴うものである。これらの交代により、理事会の委嘱を受けて日常的な法人運営を掌る常任理事会を構成する役員の内半数が入れ替わったことになる。加えて、2012年度は、2016年に迎える創立100周年まであと4年と迫った時期でもある。これらの状況を、未来に向けた新しい活力の源として、学校法人西南学院及び同法人が設置する各学校・園は、学生、生徒、児童、園児一人ひとりに向き合うより良い教育となることを念頭に掲げて、2012年度の事業計画を行った。

本事業報告書の構成は、学院本部、西南学院大学、西南学院中学校・高等学校、西南学院小学校、舞鶴幼稚園、早緑子供の園における、1. 教育理念と目標、2. 中長期計画、3. 2012年度における主な事業計画から成る。基本的構成は例年のとおりであるが、今年度からは、3. 2012年度における主な事業計画の中に、それぞれの学校・園における宗教活動部門の計画を含めることとした。言うまでもなく本学院における宗教活動は、キリスト教主義学校としての本学院の各学校・園の根源を成すものとして、創立当初から途絶えることなく連綿と継承され現在に至っている。そこで、今年度からは、従来、宗教局報告のみに記載してきた宗教活動についても、各学校・園における主な事業として事業報告に含めることが適当と判断し、その活動内容を広く公開するものである。

昨年度に引き続き、2012年度も、2016年の創立100周年に向けて、西南学院の各学校・園では、「**Thanks and Next** ～一粒の麦から、次の100年に向かって～」をキャッチフレーズに、今後、様々な活動を展開する。本学院は、建学の精神と使命、そして各学校・園の「教育目標」と「中長期計画」に基づきながら、2012年度の事業計画を進めていく。

I. 学校法人西南学院の事業計画

1. 教育理念と目標

21 世紀の西南学院は、創立 100 周年(2016 年)を一つの節目として、建学の精神に根ざして積極的に真理を探究し、研究活動を進め、キリスト教に基づく全人格的教育・保育の活動を継続する。そして同時に、激しく変化する学院内外の環境に柔軟に対応し、社会のニーズにも可能な限り応えることができる学院を目指す。

2. 「21 世紀の西南学院」のテーマ “Impacting the World”

- ① 世界を導く力：真理に基づいて、世界を導く力を養う。
- ② 先駆ける精神：他に先駆けて、善と正義を実行しようとする精神を養う。
- ③ 思いやりの心：他者、社会、そして地球を思いやる心を養う。

3. 100 周年及びその後を視野に入れた中長期計画

創立 100 周年事業に向けての取組み

“Thanks and Next ～一粒の麦から、次の 100 年に向かって～”

一粒の麦から始まった学院に感謝し、次の 100 年に向かって、100 年後も繁栄した学院の基礎を作る。

① 保育・教育

建学の精神と一貫した保育・教育理念に基づいて、各年齢段階に相応した質の高い保育・教育を提供し、社会に貢献できる国際的な人材を養成する。

② 研究

個人及び共同による基盤的な研究と特色のある研究を活性化、推進し、学術界に貢献する。

③ 施設・設備

上記の保育・教育及び研究の発展に寄与し、園児・児童・生徒・学生たちが安全かつ快適に学びを進められるよう施設・設備の充実を図る。

④ 経営と財政

迅速かつ適正な判断と行動ができるように経営体制を整備し、それを可能にする財政基盤を確立する。

⑤ 社会貢献と地域連携

学院が持つ知的資源の社会への還元を進め、環境問題への取組みを含めて最大限に貢献する。

4. 2012 年度における主な事業計画

(1) 本学の保育・教育の特色の強化

時代や環境の要請に応え、社会に貢献できる国際的な人材を育成するために、各学校・園において質の高い充実した保育・教育を提供する。そのために、教職員の能力の向上を図るための研修を充実し、継続して変革できる能力を育成する。

(2) 教育研究費の充実

保育・教育、研究への積極的な投資及び奨学金の充実を含む学生生活支援を目的とし

た財源確保のため、総人件費の抑制に関する種々の施策を進めると同時に、創意工夫によるコスト削減を図る。

(3) 学院創立100周年に向けた広報戦略の策定と事業の推進

学院創立100周年のキャッチフレーズと4つの基本コンセプトに基づいて広報戦略を策定してブランドイメージの浸透と向上を図るとともに、創立100周年に関連する各事業を推進する。同時に、同窓会と連携・協力し、寄附金戦略を策定し推進する。

(4) 西南学院フェアの推進

西南学院フェアは、本学院が設置する保育所から大学、大学院各々が施設を公開し、普段は見ることのできない各学校を見学してもらうとともに、学校紹介やふれあいイベント、オープンキャンパスなどを実施し、教育・保育のよさを体感してもらうプログラムである。この西南学院フェアを2012年度においても推進する。

(5) エコキャンパスの促進

学院省エネルギー対策委員会を中心に、学院全体のエネルギーの管理及び高効率機器の中・長期的な導入の検討を適切に行って、温暖化対策・環境問題への種々の取組みを推進する。

(6) 健全な財政基盤の確立

校納金の安定的な確保と補助金(経常費補助金・競争的資金)をはじめ外部資金の獲得や株式会社キャンパスサポート西南を含めた寄附金収入の増大及び総人件費と一般管理費の抑制を図りながら健全財政を維持していく。また、施設整備計画に当たっては計画的に基本金の充実を図る。

(7) 新本館の建設

2011年度末に策定された「西南学院大学キャンパスグランドデザイン」において示された整備手順に沿って、2013年11月の竣工予定で東キャンパス内に新本館の建築を開始する。

(8) 宗教局活動

学院宗教局活動として次のとおり実施する。

① 学院聖句の学院内における浸透

キリスト教学校として、目指すべき聖書指針を制定し、聖句に込められたメッセージを西南学院に所属する学院教職員がその西南スピリットを保持することにより、学院の使命である世界への貢献を目指す。

2012年度の学院聖句

「立って、真理を帯として腰に締め、正義を胸当てとして着け、平和の福音を告げる準備を履物としなさい。なおその上に、信仰を盾として取りなさい。」

(エフェソの信徒への手紙 6章14～16a節)

② 西南デーの実施

西南学院の建学の精神であるキリスト教教育に基づく奉仕の精神を掲げ、諸教会の要請に応じる形で教職員自らがそこへ出かけて主日礼拝の奨励や講話を行う。これによって、地域の諸教会と西南学院の直接的な対話を図り、身近な存在として、より密接な相互の協力関係をもつことを目的として2005年度(2006年度より隔年実

施)より実施しており 2012 年度は、これまで 5 月 15 日の学院創立記念日前後の 2 週間で実施していたものを 5 月、6 月、7 月の 3 か月間に亘って実施する。

③ 宗教局報告の発行

西南学院各学校・園等の宗教活動の報告集として学院関係者にむけて毎年 5 月に発行する。

④ 宗教局報の発行

年 1 回 12 月上旬にクリスマス特集号として各学校・園等のクリスマス行事等を掲載する。

⑤ 「西南学院とキリスト教」の発行

学生・生徒・児童、そして園児の保護者等は、西南学院を通じて、初めてキリスト教に接する方々も多く、学院の歴史やチャペル、キリスト教などについて理解を深めてもらうことを目的として毎年発行し、入学者に配布する。2012 年度は、内容の一部見直し等を行う。

⑥ 学院コンサートの開催

学院の社会貢献の一環として、音楽等の文化振興に寄与するために学院コンサートを次のとおり実施する。

- ・ 4 月 21 日 ----- 合唱とオルガンの饗宴～教会音楽の調べ～
- ・ 7 月 14 日 ----- 青島広志お楽しみコンサート
- ・ 11 月 23 日 ----- フルートとリュートのタベ
- ・ (日時未定) ---- 財津和夫アコースティックライブ
- ・ (日時未定) ---- 安積道也(音楽主事)オルガンコンサート

⑦ 学院クリスマス行事について

- ・ 西南学院教職員クリスマス ----- 12 月 12 日：大学チャペル
主イエス・キリストの降誕をお祝いして、学院教職員等によるクリスマス集会を開催する。
- ・ 西南学院コミュニティクリスマス ----- 12 月 21 日
：中学校・高等学校チャペル
地域の方々に対してクリスマス集会を催して共に主イエス・キリストの降誕を祝うとともに、西南学院をアピールする。

Ⅱ. 西南学院大学事業計画

1. 教育理念と目標

(1) 大学の教育理念と目標

西南学院大学は、教育理念と目標を学則第1条に以下のとおり定めている。

「キリスト教を教育の基本理念とし、深遠な学術研究とそれに立脚した教育を基盤に、学術文化の向上に寄与するとともに、地域、日本、そして世界に貢献できる教養豊かで深い専門知識と創造性を備えた人材を育成することを目的とする。」

(2) 教育の四つの特色の強化

① キリスト教主義に基づく人格教育

「キリスト教学」を通じて、聖書の学問的理解、キリスト教の教理及び倫理思想等の概説等を学び、キリスト教への知的理解を深めることによって学生個々人の良心的な人格の形成を行う。また、大学チャペルでは、人格形成に関する事柄や、人生と社会の諸問題等について、聖書を倫理的な基礎として、様々な角度からの講話を提供する。

② 国際性

多様な国際交流プログラムを用意して、異文化を理解する能力、そして異文化社会に適応できる能力、さらに複数の文化的視野を備えるための国際的なコミュニケーション能力を育成する。11か国34大学への約1年間及び1学期間の派遣留学、私費留学の支援、夏季・春季休暇中の短期語学研修等の海外留学の機会、学内における海外からの留学生との交流の機会を提供する。

2012年度からは、アメリカのユタ州立大学、イギリスのリージェンツ・カレッジ・ロンドン、オランダのアムステルダム応用科学大学、イタリアのトリノ大学、との交流を新たに開始する。また、留学生別科では、各協定校から毎年約60名を受入れ、スタディー・アブロード型プログラムによって、日本語の他に、日本文化や経済等に関する約20科目を英語で提供している。さらに、学部教員(186名)のうち外国人教員が占める割合は約9.7%(18人)となっており(2012年4月1日現在)、協定校のうち5つの国・地域の5大学と教員の派遣・受入れを行い、国際化を推進している。

③ 少人数教育

学生と教員との人格的なふれあいを重視し、1・2年次ではクラス制を採用し、クラス主任が学生の相談を受け、アドバイスを行う。また外国語やキリスト教学等の教養的科目、基礎演習等の専門科目で少人数による学修指導を行い、3・4年次の少人数のゼミナールでのテーマ別の研究を通じて大学教育の仕上げを行う。

④ 語学教育と情報処理教育

語学教育の中核である言語教育センターでは、充実したCALL・LL・AV機器と豊富な教材を完備し、これらを活用した語学教育を活発に行い、授業では、映像(インターネット、DVD、ビデオ等)と音声を効果的に用いた実践的な語学教育を行う。また、情報処理センターでは、約70室のマルチメディア教室を用意し、情報リテラシー教育から高度な情報処理技術の習得を目指した教育を行う。

2. 中長期計画

(1) 第11次財政計画(2010～2013年度)

① 第11次財政計画の基本方針

第11次財政計画のテーマは、「教育と研究の充実と強化」である。

第10次財政計画から継続している課題や問題、各学部、各研究科、各部署等から調査、収集した要望を基に重要度と緊急度の視点から整理し、「教育と研究の充実と強化」のための財政的な措置と、組織や制度の整備を実施する。

② 第11次財政計画での事業の概要

i. 「教育と研究の充実と強化」のために

- a. 既設の「特色ある学部教育実施経費」の増額を図ると共に、「大学院、法科大学院の特色ある教育実施経費」を新設し、学生の学習に対する要望への対応、教員の教育内容や授業方法の改善に対する希望へ対応する。
- b. 教育・研究推進機構による教育・研究の特色強化のための資金を増額し、現行の学内 GP 制度(特色のある教育及びその萌芽的な取組を育成する制度)を拡充して学部や大学院研究科での特色ある教育の取組を支援すると共に、共同研究育成制度(特色のある共同研究、学際的な共同研究を育成する制度)を展開して、特色ある共同研究の取組を支援する。
- c. 「大学奨学基金」を充実させ、学内奨学金の種類や額を増やし、学生支援を行う。また、「教育研究振興基金」(上記(2)①iiの取組みをはじめ本学の教育と研究を充実・強化するための資金を充実させるための基金)を充実させ、教育と研究の質の向上と特色強化を行う。

ii. 語学教育の強化のために

学生の語学力向上を促すために、新築された言語教育センターにおいて、現代的なニーズに対応した機器の設置と充実を推進する。

iii. 情報処理教育の充実のために

学生の情報処理能力の向上を促すために、SAINSの更新及び学内LANの機器、サーバ、パソコンの更新を行うと共に、マルチメディア教育機器を更新する。

iv. エコキャンパスの充実のために

大学環境マネジメント委員会が主導して、エネルギーの管理を適切に行い、大学全体での温暖化対策、環境問題への種々の取組みを推進する。施設面では、校舎屋上へ太陽光発電機器等を計画的に設置する。

(2) 大学キャンパスランドデザイン

2011年度から、大学キャンパスの施設整備長期計画を、キャンパスランドデザインとして再策定する取組みを進めてきた。

本学の大学キャンパスランドデザインは、2023年を目標にした将来のイメージや大きな基本方針を示したものである。具体的には、キャンパス整備の基本方針において、「人・環境・地域の新たなあり方を世界に向けて発信する『知のガーデンキャンパス』～地域とつながる100年の庭づくり～」をコンセプトに、それを実現するために以下の3つを基本方針の柱としている。

1. 本学を発信する5つの顔づくり
2. 未来の大学インフラのあり方を提示するキャンパス
3. 地域に開かれ、地域に貢献するキャンパス

今後は、大学キャンパスグランドデザインをマスタープランとして、実現に向けた個別の計画・設計を具体化していく。

3. 2012年度における主な事業計画

(1) 「教育と研究の充実と強化」のために

① 新学部・学科の設置に向けた検討

社会と受験生の需要を充足するために、新しい学部設置等に関する構想を練るための委員会を立ち上げて、具体的な検討を進める。

② 学生の学習に対する要望への対応、教員の教育内容や授業方法の改善に対する希望への対応として、各学部・学科及び大学院研究科単位で実施を希望する取組を募集し、所定の会議で選定した上で実施する仕組みを設け、開始する。

③ 教育・研究推進機構では、2012年度後期より学内GP制度に代わる新制度（仮称：教育インキュベートプログラム）を導入し、引き続き特色ある教育を支援し、教育の充実と強化を推進する。また2012年度中に学術研究所の特別研究制度と教育・研究推進機構の共同研究育成制度を統合した新制度（仮称：研究インキュベートプログラム）を設置し、2013年度から運用を開始する。

④ 大学給付奨学金の財源を充実させ、学内奨学金の種類や額を増やし、多様なニーズに対応した学生支援を行う。また、「教育研究振興基金」を充実させ、教育と研究の質の向上と特色強化を行う。そのための基金として1億円を積立てる。

⑤ 大学改革フォーラムを継続して開催し、法令や政策の動向を確認・理解するとともに、本学固有の課題への対応方法を検討する機会として活用する。

⑥ 次期自己点検評価を展望して大学内に大学(大学院)設置基準及び認証評価基準を踏まえた内部質保証システムの考え方を定着させ、自律的に展開する仕組みを整える。

⑦ 学部・学科の共通科目として、自校史講義「西南学院史」を開講する。オムニバス形式で、多様な学問分野の講師によって西南学院の歴史を分かりやすく講義する。

⑧ 博物館での特別展、特別企画

博物館では、春季特別展として、海と船の博物館ネットワークの支援をうけて、神戸大学海事博物館と共同で「閉ざされた島 開かれた海—鎖国のなかの日本」、秋季特別展では「キリシタン考古学の世界」を開催する。また、「シーボルト著『日本』にみる近世日本」や博物館実習生による企画展を実施する。あわせて「せいなんこどもワークショップ」などを行う予定である。

⑨ 公開講座の開講

公開講座運営委員会では、前期・後期に区分して公開講座を開講する。2012年度は前期および後期も開講を予定している。

⑩ 大学間連携の推進

九州大学、福岡女子大学と本学との包括連携を核として、国公立大コンソーシアム・福岡、Q-Links(九州地域大学教育改善FD・SDネットワーク)、福岡西部地区5大学連携等の複数の大学間連携事業を継続的に推進する。

⑪ EU Institute in Japan 九州コンソーシアムの推進

2011年4月から、九州大学、福岡女子大学及び本学のコンソーシアムとして、欧州委員会の資金援助によるEU Institute in Japan九州が設置された。計画に基づき、円滑な展開を図る。

(2) 教育と研究の環境整備のために

① キャンパスグランドデザインの策定と推進

2011 年度末に策定された「西南学院大学キャンパスグランドデザイン (2012-2023 年)」に沿って、今後、西新校地内の建物及び構築物の建替えを計画的に進める。先ず皮切りとして、中央キャンパスにある本館機能の移転を行うため、東キャンパス内に新本館の建築を開始する (竣工予定 2013 年 11 月)。現本館の跡地利用については、上記グランドデザインに基づき、順次改築計画を進めていく。

② 情報処理環境の整備

西南学院大学総合情報ネットワークシステム(SAINS)の対外接続回線を強化する。マルチメディア教育機器の更新を、2010 年度から 2013 年度の期間で計画的に行う。また、学習ポートフォリオシステムの運用を開始する。

③ 将来の施設建設資金

体育館、西南会館及び本館改築資金を、各施設の目標建築年度を考慮して計画的に積み立てる。

④ 学生証及び教職員名札の IC カード化

2012 年 4 月から、学生証及び教職員名札を現在の磁気スライプカードから IC カードへ変更し、学生・教職員へ新たなサービスを提供する。主な機能としては、プリペイド機能を持たせて、大学生協での購買と学生の証明書自動発行機の利用をキャッシュレスで実現する。本館及び図書館等の入退館を IC カードで管理する。また、2012 年度は試験的に簡易型リーダーを導入し、IC カードでの出席状況調査を行い、利便性等を調査し、システムと連動出来る仕組みを検討する。

⑤ エコキャンパスの第一歩

大学環境マネジメント委員会の活動を充実させ、省資源、省エネルギー、グリーン購入の推進及び廃棄物の減量と適正管理に努め、環境負荷の低減に取り組むとともに、建設予定の校舎屋上に太陽光発電機器等を設置することを検討する。

今後建築する建物については、前述のとおり太陽光発電パネル、屋上緑化、雨水の再利用、人感センサーあるいは省エネタイプの空調機器や照明器具の採用を検討し、効果的な設備を採用することとしている。

また、大学受動喫煙防止対策に関する委員会と連携し、キャンパス内の完全分煙化への実現に向けたクリーンなキャンパスづくりを検討する。

(3) 大学宗教部活動計画

大学宗教部として次のとおり計画している。

① チャペルアワーの実施

授業期間中の毎週 3 回(火・水・木)、週テーマに基づいた講話を中心にキリスト教の礼拝形式で実施する。個人の主体的な課題である人格形成に関する事柄や、人生と社会の諸問題について、聖書を倫理的な基礎として、様々な角度から話題を提供する。

② 年 2 回(春・秋)キリスト教フォーカス・ウィークの実施

チャペルアワーの一つとして、年 2 回春と秋にロング・チャペル(1 時間)を設け、内外から様々な分野で活躍する著名なキリスト者を講師として招いて実施する。

※2012 年度キリスト教フォーカス・ウィーク

・春季 5 月 20 日～31 日

・秋季 11 月 27 日～29 日

③ クリスマス行事

主イエス・キリストの降誕を祝って、次のクリスマス行事を実施する。

- ・クリスマスディスプレイ点灯式 11月30日
- ・キャンドルサービス 12月20日

④ ファカルティ・リトリート

大学教員が建学の精神を踏まえつつ、学び互いに自由に語り合い、学部・学科の枠を越えて、交わりを深めることを目的として毎年3月に開催する。

⑤ 宗教部学生グループとの懇談会

年1回懇談会を実施して宗教部学生団体グループの支援について懇談する。

⑥ オルガニストとの懇談会

チャペル奏楽者と懇談し、必要な情報を分かち合う。

⑦ キリスト教学担当者との懇談会

神学部及び国際文化学部の「キリスト教学」担当者と宗教部の活動について懇談会を年1回実施する。

⑧ チャペルポスター制作

チャペルアワー広報活動の一つとして、効果的なチャペルポスターを作成し、広くチャペルアワーへの参加をアピールする。

⑨ オルガン・コンサート(年2回)

本学院の学生、生徒及び教職員並びに一般市民に対し、宗教的、文化的、芸術的鑑賞の機会を円滑に提供することを目的として、年2回(春・秋)にオルガン・コンサートを開催する。

Ⅲ. 西南学院中学校・高等学校事業計画

1. 教育理念と目標

西南学院の建学の精神を伝える言葉として、C. K. ドージャー先生の“Seinan, Be True To Christ - 西南よ、キリストに忠実なれー”という言葉が残されている。この精神を守ることが私たちの役割であり、西南のアイデンティティーとなっている。間もなく100周年を迎えようとしている西南学院と私たちは、「キリストに忠実」であるために、以下のような考えで教育を行っている。

(1) 隣人(他者)に仕える。(「隣人を自分のように愛しなさい」ルカによる福音書第10章27節)

私たちには、神さまから多くの「賜物(能力・個性)」が与えられている。それらをどのように用いるのか。「何のために生きるのか」「何のために勉強するのか」という問題は若い諸君にとって、いつの時代も「自分さがし」の普遍的なテーマである。これらの課題と向き合いながら、その賜物をどのように生かし、自己実現を達成するのかを考えて欲しいと思っている。聖書では、「隣人」とは自分より弱い立場や、困難な状況に置かれた人を表す重要な言葉である。聖書は、その隣人に仕え、「共に生きる」生き方を教えている。

(2) 平和を作り出す。(「平和を実現する人々は、幸いである」マタイによる福音書第5章9節)

「隣人に仕える」とは、具体的にどのようなことなのであろうか。私たちの周りには今も戦争や暴力、人権侵害、貧困などの問題が多くある。更に、私たちは限りある資源を消費することで、環境を破壊して生きている。21世紀に生きる私たちには、これらの問題に対して、地域で、地球規模で「平和を実現する」ことが求められている。アフガニスタンでの中村哲医師(西南学院中学校出身、ペンシャール会)の活動は、私たちに大きな示唆を与えてくれる。

中学・高校時代にどのような教育を受けるかによって、その後の人生の豊かさが大きく違ってくる。彼らのこれからの人生の土台となり、大きな方向性を与えるだけでなく、自分が本当に進みたい大学の学部や学科などの進路を決定する動機付けともなるからである。そういう意味で、この時期をどのように過ごすのか、その「中身」が大切である。若い今は不安でいっぱいであるかも知れない。しかし、整えられた施設内での、豊かな歴史の上にキリスト教を土台にした人格教育と授業、確かな進路指導、多彩なクラブ活動やボランティア活動などは、十分に彼らの期待に添えるものであると考えている。

2. 中長期計画

少子化と経済不況に伴う公立志向が一層強まる中で、私立学校を取り巻く環境は厳しさをましている。加えて、周辺私学の男女共学化という状況変化も重なり、入学志願者数の維持と入学定員の確保が重要な課題となっている。本校も強い危機感を持って、優秀な生徒の確保のために自助努力をつづけていかなければならないと考えている。

2003年度に西新校地から百道浜校地に移転して、早いもので9年が過ぎ、今後は建物維持及び修繕について検討する時期になっている。また、同時に教育設備の更新などについても併せて検討する必要がある。

これらの計画については、財政計画も含めて多方面から検討を進める。

また、3年後に控えた西南学院小学校からの受け入れについても、西南学院小学校との

間に「小中高連携検討委員会」を設置し、具体的な検討を進めている。
主な中長期計画としては、次のものが計画されている。

2012年度	建物、電気設備、衛生設備の改修・更新計画の策定、「広報委員会」の設置、「小中高連携検討委員会」の設置と具体的検討（2011年11月～）
2014年度	西南学院小学校から中学校・高等学校への受け入れ
2016年度	体育館への空調機器の設置
2017年度	屋内長尺シート類の張り替え

3. 2012年度における主な事業計画

(1) 学校評価の検討

自己評価、外部評価についての研究を行う。

(2) キリスト教教育プログラムの推進・充実

本校の建学の精神の具現化、教育目標のキリスト教教育の側面からの取り組みとして、下記の主要行事をはじめとするプログラムを推進し、その充実に努める。

① チャペル

聖書に基を置き、中高生の成長過程を考慮した月主題カリキュラムのもと、中学、高校各学年別に週1回、礼拝を行う。

② ミッションウィーク

前期・後期の2回、キリスト者として平和・人権・伝道の分野で活躍しておられる方を講師として迎え、3日間(中学前期のみ2日)連続の特別講話をうかがう。自身の生き方・使命を考える時となるよう励ます。

③ ボランティア活動

年2回の施設訪問・活動を中高合同で企画すると共に、推薦入学決定者を対象とする体験学習を1月に実施する。恒例のクリスマス街頭募金と共に、災害発生時の被災者支援を目的とする緊急募金等にも取り組みたい。また、高校生有志によるホームレス支援活動に継続的に取り組む。

④ 平和教育、人権・「同和」教育

中・高6か年にわたって取り上げる内容を定めたカリキュラムによって今日における人権諸課題を学ぶ。韓国ハヌル教会(メソジスト派)との協力関係の中で回を重ねている平和研修「韓国の旅」を中高合同で計画・実施すると共に、中学では平和に関する映画鑑賞や特設LHRを行い、中3修学旅行を沖縄での平和学習を主とした内容で実施する。

(3) 奨学事業の検討

2008年度から3年をかけて3億円の奨学基金の積み立てを行った。この基金を有効活用して経済的援助が必要とされる生徒に広く援助を行う。

(4) 減価償却期間満了に伴う対応

2013年3月をもって設備関係の減価償却期間が満了になるため、その後の措置を検討する。

(5) 建物、設備の修繕・改修計画の策定

建物、設備の経年劣化に対応するため、今後の長期的な修繕・改修計画の方向性を取り

まとめる。また、4階部室ビレッジの改修についても、具体的に検討する。

(6) 西南学院小学校と中学校との連携について

「小中高連携検討委員会」を設置し、2014年度から西南学院小学校からの受け入れについて小学校とともに検討を行う。

(7) 広報活動の充実

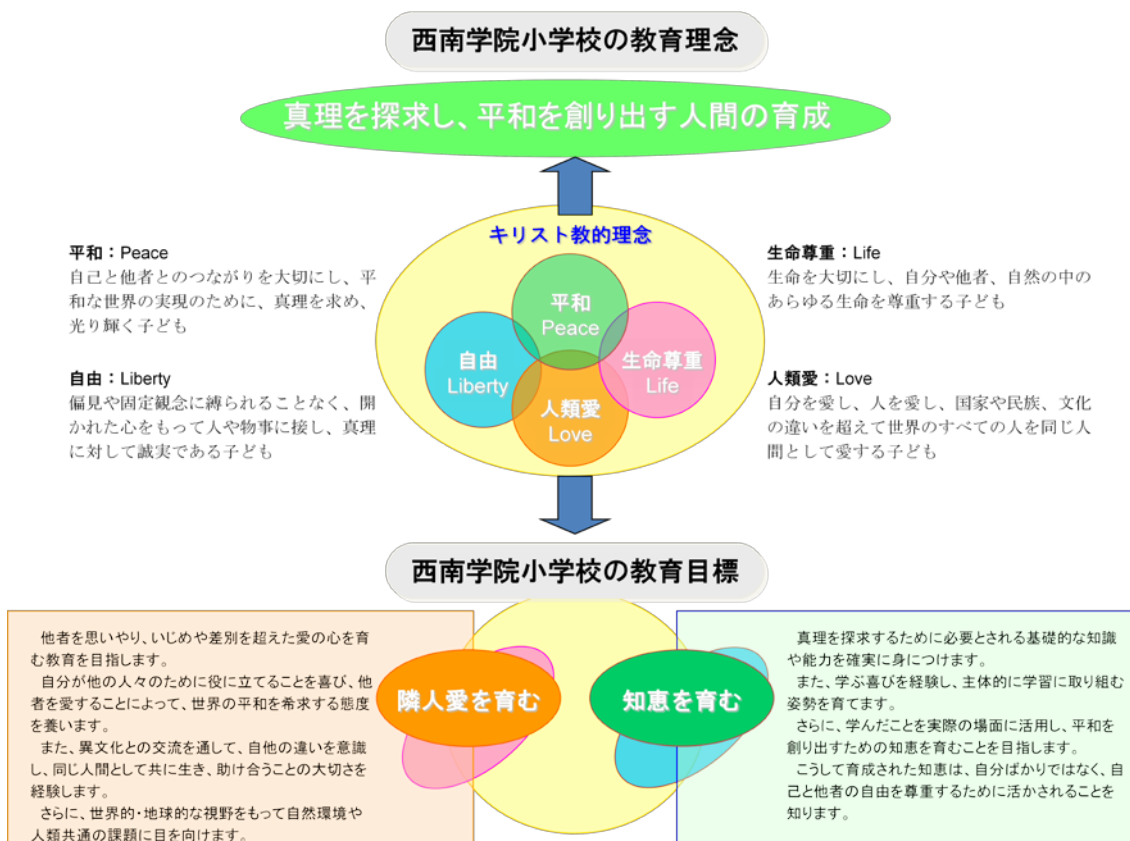
2012年4月から校務分掌に「広報委員会」を設置するとともに、同年6月を目途に本校ホームページを全面リニューアルし、これまで以上に広報活動と情報発信に力を入れる。

IV. 西南学院小学校事業計画

1. 教育理念と目標

小学校の教育理念及び教育目標については、“Seinan, Be True To Christ — 西南よ、キリストに忠実なれー”という西南学院の建学の精神を基盤としながら、小学校に相応しい内容となるように策定している。

具体的には、小学校の設置にあたり院長が提示したキリスト教的理念(Peace：平和、Life：生命尊重、Love：人類愛、Liberty：自由)から、小学校が目指す子ども像を導き出し、それを基盤として検討を重ねた結果、教育理念を「真理を探究し、平和を創り出す人間の育成」、教育目標を「隣人愛を育む」「知恵を育む」と定めている。(下図参照)



2. 中長期計画

(1) 教育目標の達成

毎朝の礼拝や宗教の授業、キリスト教に関する行事等を通して、低学年時からキリスト教への理解を深める教育を行うことにより、隣人愛を育んでいく。

また、日々の学習習慣をしっかりと身につけさせ、児童の学力向上を図るとともに、実践授業や体験活動を通して、学んだ知識や技能が生かされることにより、知恵を育む。

このことにより、小学校で学んだ児童全員が学習面及び生活態度面の両方において教育目標を達成し、西南学院中学校へ進学できるように成長することを目指す。

(2) 教員の質の向上

教科ごとの指導方法研究、教員間の授業参観(公開研究授業)の実施、学内研修やキリス

ト教学校教育同盟等の外部研修への参加、授業評価などを通して、教員のスキルアップを目指す。また、新任教員や経験が浅い教員に対する育成システムの構築を図り、これらの内容を纏めた研究紀要を発行する。

さらに、礼拝等を通してキリスト教への理解を深めることにより、教育力だけではなく、キリスト教主義学校に勤務する教員に相応しい倫理観の育成に努める。

(3) 財政基盤の確立

入学志願者の増員を図る努力を行い、入学定員を充足させ、安定した授業料収入を得るとともに、寄付金納入の割合を増やすなど財政基盤の確立を図る。

また、教員の採用にあたっては、年齢配分や適正な人員配置などに留意して計画的に雇用を行い、人件費支出の抑制を目指す。

3. 2012年度における主な事業計画

(1) 教育プログラムの改善・充実

日々の教科指導に加え、ネイバーキャンプ、ネーチャーキャンプ、スポーツフェスティバル、アSEMBリー及びランチ指導などの教育プログラムの検証を行い、教育内容の改善・充実を図り、児童の一人ひとりの充実した学びを推進する。また、高学年から始まるヒストリーツアーやウイングツアーの事前準備を入念に行い、安全性を確保しつつ、教育効果の向上を図る。

(2) 宗教活動の充実

① 毎日の学校生活の中で

- i. 毎朝のチャペル 8:30~8:45(4・5年生) 8:45~9:00(1・2・3年生)
講話：月・水・金(聖書科担当)、火(教頭)、木(校長)
- ii. ランチタイムでの食前の祈り
- iii. 帰りの会での祈り
- iv. 聖書科授業(全学年週1回)

② ミッションウィーク(春・秋の2回)

- i. 外部より講師(牧師)を招聘し2日間特設のチャペルを行う。
- ii. 春には、保護者対象のチャペルを行う。

③ 感謝訪問(春：花の日チャペル、秋：サンクスギビングチャペル)

朝のチャペルのあと、持ち寄った花や手作りのクッキー等を持ち、学院内外の日頃お世話になっているところを訪問。

④ クリスマス

- i. クリスマスツリー点灯式
- ii. クリスマスチャペル(クリスマスメッセージ、1年児童によるページェント、保護者と合同礼拝形式)
- iii. クリスマス献金の呼びかけ(児童、保護者)

⑤ 職員聖書研究会

2か月に1回、外部より講師を招聘する。

V. 舞鶴幼稚園事業計画

1. 教育理念と目標

理念：キリスト教保育をとおり、思いやりの心を培いながら、ひかりの子として個性豊かにのびのびと生きていく力を育む保育を実施する。

- 目標：① 神に愛されている自分を知り、他の人たちを愛する喜びと生命の大切さを知ようになる。(キリスト教保育)
- ② 明るくのびのび活動する中で、丈夫な心と身体を育て、楽しく仲間づくりをする。(のびのび保育)
- ③ 障がいをもった子どもと共に育ちあうことを目指す。(統合保育)
- ④ 年齢の異なる子どもたちが一緒に遊び、親しく交わる。(たてわり保育)

2. 中長期計画

- (1) 社会情勢の動向を見ながらも、舞鶴幼稚園の特色を大事にした保育をアピールしていく。
- (2) 全学年7クラスの体制を維持し、在園児数を安定させる。
- (3) 子育て支援を更に充実させ、未就園児クラス、預かり保育の環境整備を行う。
- (4) 西南学院大学、早緑子供の園、西南学院小学校、西南こどもプラザとの連携の方法について考えていく。

3. 2012年度における主な事業計画

- (1) 地域の子育て支援の活動として「親子であそぼう会」「育児相談会」を拡大し、地域への一方的な呼びかけだけでなく、地域との積極的な交流を模索する。
- (2) 「子ども・子育て新システム」について学びながら、舞鶴幼稚園としての対応を考える。
- (3) 保育の質の向上を目指し、定期的に児童教育学科教員等の指導を受けながら園内研修会をより充実させる。
- (4) 西南学院の乳幼児保育・教育施設として、保育・教育面並びに施設設備に関する事項や地域への貢献について、早緑子供の園と連携をしながら課題を検討していく。
- (5) 2011年度に行われた施設点検に基づき、計画的に必要な修理を行っていく。また、幼稚園の資産管理、備品用品の購入と構築物を含めた保全のシステムを検討する。
- (6) 2013年の舞鶴幼稚園創立100周年に向けて、記念事業の計画、準備を進める。
- (7) キリスト教の信仰、家庭、子育てについて保護者が学ぶ機会として毎週開催される父母礼拝や、園児と共にクリスマス礼拝や卒業礼拝を守ることで、保護者のキリスト教保育への理解を進める。

- (8) クリスマスには、保護者と共に守るクリスマス礼拝のほか、各学年のクリスマスを祝う会を催す。特に、年長の光組ではイエス・キリストの降誕劇を全園児の前で行う。また、保護者や来賓の前で2回目を演じることで、クリスマスの意味を伝えることを経験する。
- (9) 早緑子供の園との合同礼拝として、6月の花の日礼拝と11月の感謝祭礼拝を行い、日ごろお世話になっている方々にお花や果物を届ける。

VI. 早緑子供の園事業計画

1. 保育理念と目標

西南学院の保育所としてキリスト教を土台に、この時代に生きる子どもの健やかな成長を保障する。一人ひとりを大切にする保育を目指し、長時間保育の様々な場面で、子どもたちの真の自立を援助する。

2. 中長期計画

- (1) 待機児童解消や小学校との接続・連携の強化などの、現代の保育所に求められる役割や使命を果たすために、保育所情勢の動向も踏まえながら、西南学院の保育所として可能な事柄を、様々な観点から模索する。
- (2) 現園舎建築時からの、年齢別園児の人数割りや子どもの発達自体の変化を鑑み、施設・設備の改築などの必要性を検討する。

3. 2012年度における主な事業計画

(1) 保育内容の充実

各職員が早緑子供の園の保育方針や子どもの発達の捉え方などについて共通理解の下に、6年間を見通しての保育が進められるよう、保育課程を改編する。また、園内研究会の充実を図り、継続して保育の点検・評価のシステムを構築する。

(2) 保育所情勢

数年後に始まる「子ども・子育て新システム」を見据え、保育内容・事務的手続きなど、必要に応じて準備を始める。

(3) 舞鶴幼稚園との連携

西南学院の乳幼児保育・教育施設として、保育・教育面はもとより、施設設備に関する事項や地域への貢献も含め、体系的に課題を整理する。

(4) 施設・設備

2011年度に行われた施設点検に基づき、緊急度に従って計画的に必要な修理などを行っていく。

(5) 地域への貢献

多様化する保育所の役割として、地域の子育て支援の機会を計画的に持つ。

(6) 宗教活動・行事

① イースター礼拝：4月16日

幼児クラスで礼拝を守った後、卵のお菓子探しをして祝う。

② 舞鶴幼稚園との合同礼拝：花の日（6月）・感謝祭（11月）

幼児クラスの子どもたちが、舞鶴幼稚園園児と共に礼拝を守る。その後、日ごろお世話になっている方々にお花や果物を届ける。

③ クリスマス行事

i. アドベント礼拝・ツリー点灯式：11月26日

クラスでのアドベント礼拝、全体でのツリー点灯式を行う。この日から毎日アド

ベントカレンダーの窓を開け、クランツに火を灯しながらクリスマスを迎える準備を進める。

ii. こひつじクリスマス（乳児クラス）：12月8日

クラスごとに保護者も一緒に礼拝を守り、降誕のお話を人形や大型絵本などで観る。その後会食をしてクリスマスを祝う。

iii. クリスマスメッセージ・さみどりクリスマス：12月22日

保護者対象のメッセージの後、子どもたちがキャンドルサービスや降誕劇を行い、クリスマスの喜びを伝える。

④ 鳥飼バプテスト教会礼拝

幼児クラスの子どもたちが毎月鳥飼教会に出かけ、礼拝堂で牧師先生から神様の話をしていただく。また、3月には年長児が集まり、卒園礼拝を行う。

⑤ 聖書を学ぶ会

i. 職員対象

年に4回、学院宗教主事を招き、月の聖句の背景や意味、子どもたちへの伝え方について学ぶ。

ii. 実習生対象

学生の実習期間(年2回)に、学院宗教主事によるキリスト教保育に関する講話を聴く機会を設け、学生と共に学ぶ。

VII. 資料

各学校事業及び行事 [2012(平成24)年4月1日～2013(平成25)年3月31日]

	(1) 学院本部・事務局	(2) 大学
4月	・新任教職員オリエンテーション ・キ学教同盟西南地区協議会総会	・入学式 ・オリエンテーション ・前期授業開始
5月	・学院創立記念式典	・九州六大学野球春季応援合戦 ・留学生別科終了式 ・学院創立記念式典 ・春季キリスト教フォーカスウィーク
6月	・キ学教同盟総会 ・キ学教同盟西南地区中高聖書科研修会 ・日本バプテスト連盟事業体懇談会	
7月	・西南学院フェア ・キ学教同盟事務職員夏期学校 ・キ学教同盟夏期研究集会	・入試説明会 ・前期試験 ・オープンキャンパス(西南学院フェア) ・大学院オープンキャンパスウィーク
8月	・キ学教同盟西南地区夏期学校 ・キ学教同盟西南地区新任教師オリエンテーション ・キ学教同盟西南地区校長会 ・キ学教同盟西南地区事務職員研修会 ・職員夏期修養会	・夏季休暇 ・留学生別科入学式
9月	・キ学教同盟大学部会研究集会 ・キ学教同盟西南地区大学部会研究集会 ・伝道者養成に関する協議会	・修学懇談会 ・教員懇談協議会 ・大学院秋期入試 ・法科大学院入試(法学未修者試験・法学既修者試験) ・前期卒業証書・学位記授与式 ・後期授業開始
10月		・3年次転・編入等、帰国子女入試 ・ホームカミングデー ・法科大学院入試(法学未修者試験)
11月	・キ学教同盟西南地区事務長会 ・キ学教同盟全国学校代表者協議会 ・日本バプテスト連盟定期総会	・大学祭 ・秋季キリスト教フォーカスウィーク ・各種推薦等、2年次転・編入、外国人入試
12月	・西南学院教職員クリスマス ・西南学院コミュニティークリスマス	・キャンドルサービス ・冬季休暇
1月	・キ学教同盟西南地区校長会	・大学入試センター試験 ・後期試験
2月		・一般入試、センター試験利用入試、 一般入試及びセンター試験併用型入試 ・一般入試、センター試験利用入試(前期)、 一般入試及びセンター試験併用型入試合格者発表 ・大学院春期入試 ・法科大学院入試(法学既修者試験)
3月		・センター試験利用入試(後期)合格者発表 ・西南ファカルティリトリート ・卒業礼拝、卒業証書・学位記授与式

※キ学教：キリスト教学校教育同盟

	(3) 高等学校	(4) 中学校
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・入学式 ・始業式 ・新入生オリエンテーション ・保護者学校説明会 ・保護者進路説明会 	<ul style="list-style-type: none"> ・入学式 ・始業式 ・1年学院紹介オリエンテーション ・2年集団生活 ・保護者学年・学級懇談会
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・後援会総会 ・学院創立記念式典 ・中間考査 ・同和研修会 ・教員聖書研究会 ・教育実習 ・前期ミッションウィーク 	<ul style="list-style-type: none"> ・学院創立記念式典 ・中間考査 ・同和研修会 ・同和特設授業 ・後援会総会 ・前期ミッションウィーク ・教育実習
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・同和特設授業 ・保護者面談 ・期末考査 ・教員聖書研究会 ・教育研究会 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスマッチ ・期末考査 ・保護者面談 ・教員聖書研究会 ・早朝読書週間
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭(西南学院フェア) ・学校説明会(西南学院フェア) ・終業式 ・前期補習 	<ul style="list-style-type: none"> ・終業式 ・学校説明会(西南学院フェア) ・中体連 ・指定者補習
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・訪豪研修旅行 ・後期補習 ・夏期教員研修会 ・私学展 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季補習 ・夏期教員研修会 ・私学展
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式 ・スポーツフェスティバル 	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式 ・体育大会
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・中間考査 ・2年生林間学校 ・1年・3年遠足 ・同和特設授業 ・教員聖書研究会 ・学校説明会(塾対象) 	<ul style="list-style-type: none"> ・中間考査 ・学校説明会(塾対象) ・教員聖書研究会 ・同和特設授業 ・入試説明会
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・後期ミッションウィーク ・保護者面談 ・教育懇談会 ・読書週間 ・入試説明会 ・期末考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱発表会 ・早朝読書週間 ・後期ミッションウィーク ・期末考査
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・期末考査 ・クリスマス礼拝 ・フェアウエルパーティ ・一貫生入学説明会 I ・終業式 	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマス礼拝 ・終業式 ・指定者補習
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式 ・専願入学試験 ・専願入試合格発表 ・教員聖書研究会 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定者補習 ・始業式 ・入学試験 ・合格発表 ・教員聖書研究会 ・進路交流会
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・前期入学試験 ・前期入試合格発表 ・後期入学試験 ・後期入試合格発表 ・期末考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年修学旅行 ・入試説明会 ・期末考査
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業礼拝 ・卒業式 ・期末考査 ・転入学試験 ・入学説明会 ・終業式 ・訪米研修旅行 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業礼拝 ・修了式 ・終業式 ・指定者補習

	(5) 小 学 校	(6) 舞 鶴 幼 稚 園
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式 ・イースターチャペル ・入学式 ・新入生オリエンテーション ・アチーブメントテスト ・ウェルカムアセンブリ ・懇談会 ・防犯教室 ・ホームアセンブリ ・ウェルカムピクニック 	<ul style="list-style-type: none"> ・始園式 ・入園式 ・教会学校開始 ・1学期父母礼拝開始(全9回) ・イースター礼拝 ・母の会総会 ・家庭訪問
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練 ・学院創立記念式典 ・学習参観 ・ミッションウィーク ・芸術鑑賞会(音楽) ・春のアートウィーク ・ネイバーキャンプ(1・2年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・未就園児保育、預かり保育開始 ・学院創立記念式典 ・父親参加の会 ・光組社会見学 ・ミニ講演会、育児相談 ・歓迎遠足 ・防災訓練 ・親子であそぼう会
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・後援会総会・講演会 ・花の日チャペル(施設訪問) ・ネーチャーキャンプ(3・4年) ・個人懇談 	<ul style="list-style-type: none"> ・花の日礼拝 ・交通安全教室 ・ミニ講演会、育児相談 ・保育参観、懇談 ・光組社会見学
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・学校公開・説明会(西南学院フェア) ・学期末テスト ・平和学習 ・終業式 	<ul style="list-style-type: none"> ・光組社会見学 ・夏まつり ・1学期終業 ・夏季休暇 ・未就園児対象水あそび(西南学院フェア)
8月		<ul style="list-style-type: none"> ・夏期保育 ・光組合宿保育 ・大人同窓会(創立100周年に向けて)
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式 ・夏休み作品展 ・入試説明会 ・ヒストリーツアー(5年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期始業 ・未就園児対象どろんこあそび ・ミニ講演会、育児相談 ・教会学校、2学期父母礼拝開始(全8回)
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練 ・スポーツフェスティバル ・ミッションウィーク 	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度入園募集説明会 ・運動会 ・月組お泊り保育 ・親子であそぼう会
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・クッキー作り ・サンクスギビングチャペル ・グループアセンブリ ・入学試験 ・合格発表 ・芸術鑑賞会(舞台) ・クリスマスツリー点灯式 	<ul style="list-style-type: none"> ・新入園児願書受付 ・新入園児面接 ・子育て講演会 ・みかん狩り遠足 ・感謝祭礼拝 ・光組社会見学
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・秋のアートウィーク ・学習参観・懇談会 ・学期末テスト ・クリスマスチャペル ・終業式 	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマス礼拝 ・クリスマス祝会 ・もちつき大会 ・2学期終了 ・冬期休暇
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式 ・新1年生入学説明会 ・ブレインオリンピック 	<ul style="list-style-type: none"> ・3学期始業 ・教会学校、3学期父母礼拝開始(全5回) ・親子であそぼう会 ・未就園児クラス募集説明会
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・冬のアートウィーク ・学習発表会(2～5年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・春をよぶ会 ・母の会総会 ・光組社会見学
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・学期末テスト ・学習参観・懇談会 ・修了式 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業礼拝 ・卒業式 ・終業式 ・新入園児健康診断 ・子ども同窓会 ・カリキュラム研究会

(7) 早緑子供の園	
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・入園式 ・イースター礼拝 ・幼児クラス保護者懇談会 ・乳児クラス保護者懇談会 ・年長児社会見学
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・春季総合健診 ・学院創立記念式典 ・保育園で遊ぼう会1 ・保護者会総会 ・親子遠足 ・鳥飼バプテスト教会幼児礼拝
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・花の日礼拝 ・年長児社会見学 ・歯科検診 ・育児講座 ・鳥飼バプテスト教会幼児礼拝
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園で遊ぼう会(西南学院フェア) ・さみどりこどもまつり(西南学院フェア) ・鳥飼バプテスト教会幼児礼拝 ・プールびらき
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・お泊り保育説明会 ・小中学生の集い
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園で遊ぼう会 ・お泊り保育 ・卒園記念製作(やきものづくり)
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・年長児社会見学 ・幼児クラス保育体験会 ・運動会 ・秋季総合健診 ・交通安全教室
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園で遊ぼう会 ・感謝祭礼拝 ・幼児クラス遠足 ・新年度入所申し込み書配布開始 ・入園説明会
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・アドヴェント礼拝 ・ツリー点灯式 ・クリスマスメッセージ ・こひつじクリスマス ・さみどりクリスマス
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度入所申込書受付開始 ・小学生同窓会 ・保育園で遊ぼう会 ・入園説明会
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・就学相談会 ・年長児社会見学 ・新年度入所児発表、面接 ・保護者会お手伝いの会 ・育児講座
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児クラス保護者懇談会 ・乳児クラス保護者懇談会 ・お別れ会 ・お別れ遠足 ・卒園式

学校法人西南学院 所在地

学院本部、西南学院大学（大学院・法務研究科を含む）

〒814-8511

福岡市早良区西新六丁目2番92号 電話 092-823-3201

学校法人 <http://www.seinan-gakuin.jp/>

大 学 <http://www.seinan-gu.ac.jp/>

西南学院中学校・高等学校

〒814-8512

福岡市早良区百道浜一丁目1番1号 電話 092-841-1317

<http://www.seinan.ed.jp/hs/>

西南学院小学校

〒814-8513

福岡市早良区百道浜一丁目1番2号 電話 092-841-1600

<http://www.seinan.ed.jp/es/>

舞鶴幼稚園

〒810-0053

福岡市中央区鳥飼一丁目6番1号 電話 092-751-6650

<http://www.seinan-gu.ac.jp/youchien/>

早緑子供の園

〒810-0053

福岡市中央区鳥飼一丁目6番5号 電話 092-761-3408

<http://www.seinan-gu.ac.jp/hoikuen/>